

■ お待たせしました。堂々スイーツブームのトリを飾るのは我ら 1 丁目です!

おいしさ



あなたは王道のショートケーキ?チョコケーキ?チーズケーキ?それともプリンにしますか?

夢の中で帰宅して、志村けんのコントのように「あなた、ご飯にする?お風呂?それとも…」と問われると、この暑さ、迷わず「風呂!」と浴室へ一直線の季節です。

その志村けんが躍った「いっちょめ〜」1丁目では、この春からうおずみで続いているスイーツブームにのり、ついに「選べるドルチェ」を7月30日(日)に開催しました。

5丁目や8丁目などが行ったようなクッキング・レクではありませんが、既製品のケーキたちを好みで選り抜き、ご覧のような笑顔を見せて下さいました。お口へケーキを運ぶと

さらにほころぶ笑顔、笑顔。嬉しいこと楽しいことがある

時に買い求めにやって来るのがケーキ屋。だから私はケーキ屋になった—こういう人がいました。ハメを外しそうになるかも。いっちょめ、いっちょめ〜ワオッ

いっちょめ〜
Wow!

1丁目
遊べる
おやつ



ありがとう



■ スイーツ・ブーム再び。5丁目でも選べるおやつ、もぐもぐタイムを



桜舞う4月、クレープを焼いて大好評だった5丁目。3か月ぶりに7月25日(火)、おやつレクを開催しました。

この日は、レアチーズケーキとプリンのうちお好きな方を選んでいただきました。前回のようにホットプレートは使わず、トッピングをお楽しみいただく企画です。フルーツや生クリームを

お好みでどんどんのせて下さい!

梅雨が明け日に日に真夏の暑さを感じる頃でしたが、皆様のスプーンやフォークはよく進みます。夏バテ予防のちょっとしたスパイスになりましたね。カーリングの休憩時間に選

手が「もぐもぐタイム」をとってから再びハッスルするのと似た感じでしょうか。

施設では食事の管理が行き届いて、お好みのものを存分に味わうという機会が少ないのが申し訳ないのですが、こういった機会を設けると皆様が喜んで下さっていることがよくわかって、とても嬉しい気分になります。

「もぐもぐタイム」よ。また逢う日まで。これで夏バテ知らず間違いなしです。



5丁目
選べる
おやつ



厨房だより これぞ、the 薩摩！黒豚メンチカツにこが焼きでごわす



南国・鹿児島より真夏のご馳走をお届けします。7月26日(水)のランチは「黒豚メンチカツ」に「こが焼き」をどうぞ。

メンチカツはサクサクの衣に包まれた肉を、ソースなしで味わって。おー、なかなかジューシーでごわす。続いて薩摩独特の卵焼き「焦が焼き」です。卵と、白身魚のすり身、味噌、砂糖などを混ぜ、こがやき鍋で焼き上げました。デザートにはみかんゼリーを。西郷どんも納得の旨さ。

メニュー・カミングスーン

- ・8/14(月)《井の日》衣笠井
- ・8/15(火) 玄米入りご飯
- ・8/25(金)《ご当地フェア・香川県》さかいでひっぴ飯
- ・8/30(水)《ちらし寿司の日》そばろ寿司
- ・9/9(土)《重陽の節句》栗ご飯



私の戦記

Vol.22 阪田芳二様の場合

18才だった昭和20年6月、召集令状が来て翌月大阪の貝原小学校へ赴きました。そこで訓練を受け、詳細を知らされることなく8月の九州行きを命ぜられたのです。しかし、あと幾日かで九州へ出発という日に広島・長崎へ原爆が落ちて、ほどなく敗戦の報が入りました。今思えば、九州から特攻



せよということだったのでしょうか。

戦後1年程して太陽銀行へ入行し約20年勤務後、家業の燃料店(当時は薪や練炭を扱っていました)を継ぎ、ガスの代理店を75歳まで営みました。魚住町もずいぶん変わりましたね。これも、平和になったおかげですよ。

残暑も猛暑も楽しむ常夏のうおずみ

《訪問理美容(8月～月1回になります)》

8月→29日(火)、9月→29日(金)

《アイス週間》デイサービス:8/21(月)、24(木)、26(土)

8/22(火)→1F、23(水)→2F、25(金)→3F

《(4年ぶりの!)うおずみ祭》

10/22(日)14時～



うおずみ春夏秋冬インフォメーション

●<速報!> 2019年以來となる「うおずみ祭」を開催致します。10月22日(日)14時～です。詳細・注意事項は別紙をご参照下さい。感染対策にご協力の上、ご参加をお願い致します。

編集
後記

断捨離…コロナ渦でブームになりましたね。うおずみは9月より10床のショートステイを特養へ転換しますが、それに伴って色々整理していたら、その仕事をしていた当時の記憶が浮かんで来て何度も手が止まります。あるあるですね。記憶といっても私事とリンクしたことばかり。うおずみ開設当時(2007年)私の子は未就学児でした。ショートの利用者様とともに歩く時、息子はこの方の身長を抜いたかな?娘がこんな面白いおばあちゃんと会えば、いっぱい笑うだろうな、この仕事をしている頃学校のこんな話をしていたな…などなど頭を巡ったものでした。少しセンチになって、整理がはかどらなかった真夏の夜でした。

